

ツルハホールディングス(3391)



- ほぼ計画通りの折り返し -

ドラッグストア大手のツルハホールディングスが19日に発表した2017年5月期の上期決算は、売上高が前年同期比19.4%増収の2890億円、営業利益が同30.9%増益の188億円となりました。売上高は、既存店売上高が食品の取り扱いを開始した店舗での来店客数が大きく伸びたことや、重点商品への注力、売れ筋商品の売り場拡大などにより前年同期比1.0%増と堅調に推移したことなどから、会社予想に8億ほど届かなかったもののほぼ計画通りとなっています。

粗利益率はおよそ3000SKU（ストック・キーピング・ユニット 在庫管理の単位）で販売価格の見直しを行ったことや、PB商品の絞り込みなどで前年上期の28.1%から28.5%へと改善しています。また、販管費比率も人件費比率の低下から前年上期の0.2ポイント低下し、この結果、営業利益は会社予想に対して1億円弱の未達となったものの、こちらもほぼ計画通りとなり順調な折り返しとなっています。

ツルハホールディングスでは、上期の新規出店数55店舗をあわせて今期125店舗の新規出店を計画していますが、残りもほぼ契約が完了していることから計画通りの出店ができる見込みです。こうしたなか上期の業績がほぼ計画に沿った着地となったことから、売上高で前期比10.5%増収の5830億円、営業利益で同18.4%増益の371億円といった通期の業績予想を据え置いています。計画通りとなれば営業利益は前期に続いて過去最高益となる見通しです。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会